

JPIC NEWSLETTER

通巻 241 号

2023 年 2 月 9 日

JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編 神戸にて開催 関連講習会 今年度開催終了

1月21日（土）学びを深める編 神戸会場は『けんかのきもち』著者の柴田愛子さんを特別講師に迎え、幼児教育や図書館関係者、読みきかせボランティアなど100名が参加しました。参加者は日ごろから子どもに接することも多いため、柴田愛子さんの子どもに寄り添う姿勢と、日々繰り返し広げられる子どもたちとのドラマを聞いて自身の活動のヒントにしていました。午後のJPIC読書アドバイザーによる講義では、読みきかせをしてもらう喜びを再確認し、多彩な絵本の紹介や子どもに本を手渡す大人の心構えを学んでいました。

神戸会場をもって今年度の人材育成事業（JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編・学びを深める編、子どもたちを本の世界へ）の全11会場が終了しました。コロナ禍による制限はありましたが、より良い講習会を目指して開催地ごとに運営体制を工夫し、無事に終えることができました。参加者は、直接講師の話を聞く貴重な体験や、久しぶりに仲間と講習会に集える楽しさを味わっていました。

終了後のアンケートでは“専門家や絵本作家の話は何度聞いても楽しく活力となります”、“読みきかせの現場で、すぐに使えるアイデア・技術を得られて大変役立つ”と意欲ある声をいただいています。

JPICは来年度も、子どもに本の魅力を伝える方々にむけて、楽しく学べる講習会を提供する予定です。



特別講演：柴田愛子さん

マンガ感想文コンクール2022 審査会終了 3月表彰式へ

1月23日（月）日本出版クラブにて2022年度「マンガ感想文コンクール」の最終審査会を開催しました（主催：JPIC、共催：マンガ感想文コンクール実行委員会）。

JPICではマンガをきっかけに子どもたちの読書意欲を育てていくことを目的とし、このコンクールを運営しています。1次審査はJPIC読書アドバイザー、2次審査にはマンガ編集者、最終審査には有識者が加わり各部門グランプリと特別賞、あわせて20作品が選ばれました。授賞式は3月4日（土）に同会場で開催します。入賞者名と作品は3月6日（月）以降にJPICのHPでの発表を予定しています。



1月23日 最終審査会の様子

JPIC ONLINE 2023年も好調にスタート

時間や場所を問わない学びの場として発足した「JPIC ONLINE」。2023年は連続講座「ルネサンス美術とその主要画家」からスタートしました。池上英洋さん（東京造形大学教授）が日本でも人気のルネサンス美術の誕生の歴史と、美術史における偉大な功績を残した3人の画家、ジョット、マザッチョ、レオナルド・ダ・ヴィンチについて解説しました。

21日（土）には『この本読んで！』学びの時間』の第1回「手で見る学習絵本『テルミ』の制作を通して」を『テルミ』編集長のスギヤマカナヨさんとデザイナー安楽 豊さんによる対談でお届けし、同日の午後には辞書編集者の神永 曉さんと「日本語って、面白い？」というテーマで、時代の移り変わりとともに変化する言葉の意味を通して「正しい日本語とはなんだろう？」と考える時間を参加者と共有しました。

『20歳の20冊』 今年も配布されました

20歳を迎える方に「もっと本を読んでほしい」「読書を通して、自立した社会人になってほしい」との願いを込めて、おすすめしたい本をまとめた冊子『20歳の20冊』を毎年制作しています。

2023年1月の二十歳の式典で冊子の配布を実施したのは、福島県飯舘村、宮城県利府町、神奈川県横浜市、高知県香南市の4つの自治体です。冊子では5人の著名人が選んだ15冊に加え、自治体それぞれがさまざまな視点で5冊を選び、計20冊を紹介しています。

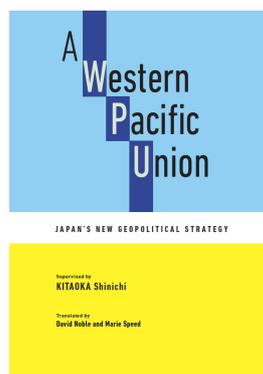
飯舘村は、冊子の中から本人が選んだ1冊を式典でプレゼント。香南市は図書館で『20歳の20冊』のフェアを開催。さらに式典の写真の受け取り場所を図書館とし、式典参加者に少しでも興味を持ってもらえるような仕掛けをしました。横浜市は市内の書店でフェアをおこなうなど、冊子をきっかけにした若者への読書推進活動をおこないました。

今回の選者と、掲載した本は以下の表の通りです。（JPICが制作した部分のみ紹介）

選者	書名
有川ひろ	『父の詫び状』（文藝春秋）
	『人間の分際』（幻冬舎）
	『一億総SNS時代の戦略』（秋田書店）
上白石萌音	『バカの壁』（新潮社）
	『うたうおばけ』（書肆侃侃房）
	『あしながおじさん』（朝日出版社）
栗山英樹	『さあ、がんばろう』（法蔵館）
	『サラとソロモン 少女サラが賢いふくろうソロモンから学んだ幸せの秘訣』（ナチュラルスピリット）
	『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』（新潮社）
けんご	『さまよう刃』（KADOKAWA）
	『レインツリーの国』（KADOKAWA）
	『明け方の若者たち』（幻冬舎）
野口聡一	『宇宙からの帰還』新版（中央公論新社）
	『ソフィーの世界 哲学者からの不思議な手紙』（NHK出版）
	『茶の本』（岩波書店）

JPIC英訳書シリーズ 新刊のご案内

今月『A Western Pacific Union: Japan's New Geopolitical Strategy』（英語版『西太平洋連合のすすめ：日本の「新しい地政学」』）を刊行します。本書は原書の刊行（2021年10月東洋経済新報社）と同時に制作を開始。編者の北岡伸一さん（東京大学名誉教授・JICA特別顧問）は



米中対立が進むいま、舞台となるアジア・太平洋諸国が緩やかな連合体となることを提案。また、各国・地域の専門家15名が歴史と政治、外交の面から新しい連合体の可能性について解説した論稿を収録しています。

第56回 造本装幀コンクール 作品募集を開始

「造本装幀コンクール」（主催：日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会）は、第56回の作品募集を開始しました。

当コンクールは、「本」を作り出すために必要な造本技術、装幀とデザイン、読者が親しみやすい「本づくり」など、書籍制作にかかる成果を総合的に評価する国内唯一のコンクールです。受賞作品は日本の代表としてドイツのライプツィヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」に出品されます。2017年以降は毎年日本からの出品作品が受賞しています。

◇出品対象は2022年の1年間に初版発行された書籍

◇応募作品はすべて今秋 出版クラブ クラブライブラリーにて展示予定

◇入賞作品は公式冊子・ホームページにて紹介

◇印刷博物館で開催されている「世界のブックデザイン展」にて、日本の受賞作品として展示

作品募集締め切りは4月30日（日）、公式HPからお申込みいただけます。詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<https://www.jplic.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します！